



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 新日本理化株式会社

上場取引所 東

コード番号 4406 URL <http://www.nj-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 藤本 万太郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 盛田 賀容子

TEL 06-6202-6598

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,397	5.0	301	79.3	449	72.7	358	92.6
2019年3月期第2四半期	14,098	4.4	168	61.2	260	49.7	186	55.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 17百万円 (96.8%) 2019年3月期第2四半期 548百万円 (56.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	9.62	
2019年3月期第2四半期	4.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	33,227	14,751	41.6	370.60
2019年3月期	34,765	14,751	39.8	370.69

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 13,818百万円 2019年3月期 13,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	4.7	730	21.3	890	11.9	690	20.4	18.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	37,286,906 株	2019年3月期	38,008,906 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	867 株	2019年3月期	722,559 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	37,286,175 株	2019年3月期2Q	37,286,665 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響等により不透明感が強まっており、設備投資等において減速傾向が見られるなど、景気は横ばいで推移しました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、既存事業および受託事業の拡大、収益力強化のための取り組みを進めるとともに、水素化技術をはじめとするコア技術を用いた新製品の研究開発を加速するなど高収益体質の構築を進めました。

主要製品の概況は次のとおりであります。

オレオケミカル製品は、界面活性剤や不飽和アルコールについては好調に推移しましたが、グリセリンについては低調となったほか、製品群全体的に原料価格動向の影響を受けて販売単価が下落したため、売上高は前年を下回りました。

可塑剤は、主要販売先である住宅設備資材用途において、電線分野を除いて需要の低迷が続いていることに加え、輸入品の流入が増加したため、厳しい状況となりました。

機能性化学品は、自動車向け油剤等の需要が減退したことなどにより売上高は前年を下回る結果となりました。

樹脂原料製品は、電機用途向けについては堅調に推移しましたが、自動車用途においては安価な競合品の攻勢を受け前年売上高を下回りました。

樹脂添加剤は、国内向けの販売は引き続き堅調に推移したものの、欧州では受注が減少したため、売上高は前年を大きく下回る結果となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は133億9千7百万円(前年同四半期比5.0%減)となりましたが、損益面ではコスト削減に努めた結果、営業利益3億1百万円(前年同四半期比79.3%増)、経常利益4億4千9百万円(前年同四半期比72.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億5千8百万円(前年同四半期比92.6%増)を計上する結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前期末比4.4%減、金額で15億3千8百万円減少の332億2千7百万円となりました。

流動資産は168億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億7千1百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が9億2千2百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が17億5千1百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は163億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億6千7百万円減少しました。これは主に有形固定資産が8千3百万円、投資有価証券が4億5千4百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

流動負債は105億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億1千9百万円減少しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が6億3千4百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が11億6千3百万円、短期借入金が3億8千8百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。固定負債は78億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千9百万円減少しました。これは主に長期借入金が1億6千6百万円、その他に含まれる繰延税金負債が1億2千4百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産は147億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が2億7千7百万円減少したものの、利益剰余金が3億5千8百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は41.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、9億2千万円増加し、32億6千7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は14億2千1百万円増加（前年同四半期は1億9千6百万円増加）しました。これは主に、売上債権の減少17億5千万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は5億6千4百万円減少（前年同四半期は4億7千7百万円減少）しました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億9百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は6千1百万円増加（前年同四半期は2億6千4百万円増加）しました。これは主に、借入金の増加8千万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,485	3,408
受取手形及び売掛金	10,511	8,760
商品及び製品	2,156	2,252
仕掛品	1,358	1,270
原材料及び貯蔵品	1,043	945
その他	259	207
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	17,813	16,841
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,278	4,278
その他(純額)	4,288	4,204
有形固定資産合計	8,566	8,483
無形固定資産		
	43	39
投資その他の資産		
投資有価証券	7,738	7,284
その他	608	583
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	8,342	7,863
固定資産合計	16,952	16,385
資産合計	34,765	33,227

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,587	4,424
短期借入金	2,790	2,402
1年内返済予定の長期借入金	1,616	2,251
未払法人税等	80	87
賞与引当金	259	260
その他	1,467	1,157
流動負債合計	11,802	10,582
固定負債		
長期借入金	4,452	4,286
役員退職慰労引当金	68	71
退職給付に係る負債	1,830	1,866
その他	1,860	1,667
固定負債合計	8,211	7,892
負債合計	20,014	18,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,246	4,075
利益剰余金	2,877	3,235
自己株式	△171	△0
株主資本合計	12,613	12,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,836	1,558
為替換算調整勘定	△580	△667
退職給付に係る調整累計額	△47	△44
その他の包括利益累計額合計	1,208	846
非支配株主持分	929	933
純資産合計	14,751	14,751
負債純資産合計	34,765	33,227

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	14,098	13,397
売上原価	11,839	10,920
売上総利益	2,258	2,477
販売費及び一般管理費	2,090	2,176
営業利益	168	301
営業外収益		
受取配当金	83	83
持分法による投資利益	37	65
その他	14	30
営業外収益合計	135	180
営業外費用		
支払利息	26	21
為替差損	8	5
その他	8	5
営業外費用合計	43	32
経常利益	260	449
特別利益		
投資有価証券売却益	9	-
特別利益合計	9	-
特別損失		
固定資産除却損	16	3
特別損失合計	16	3
税金等調整前四半期純利益	253	446
法人税、住民税及び事業税	39	65
法人税等調整額	△0	1
法人税等合計	38	66
四半期純利益	215	379
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	186	358

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	215	379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	464	△277
為替換算調整勘定	1	△7
退職給付に係る調整額	0	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△133	△79
その他の包括利益合計	333	△362
四半期包括利益	548	17
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	519	△3
非支配株主に係る四半期包括利益	28	21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	253	446
減価償却費	305	335
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18	1
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	3
厚生年金基金解散損失引当金の増減額(△は減少)	△295	-
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	12	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10	38
受取利息及び受取配当金	△88	△87
支払利息	26	21
持分法による投資損益(△は益)	△37	△65
固定資産除却損	16	3
投資有価証券売却損益(△は益)	△9	-
売上債権の増減額(△は増加)	157	1,750
たな卸資産の増減額(△は増加)	△120	94
仕入債務の増減額(△は減少)	△395	△1,163
その他	338	△33
小計	159	1,347
利息及び配当金の受取額	112	126
利息の支払額	△25	△22
法人税等の支払額	△49	△29
営業活動によるキャッシュ・フロー	196	1,421
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	109	△8
有形固定資産の取得による支出	△616	△609
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	39	-
貸付金の回収による収入	8	50
その他	△17	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△477	△564
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	894	△388
長期借入れによる収入	1,500	1,400
長期借入金の返済による支出	△1,908	△931
社債の償還による支出	△200	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1	△1
非支配株主への配当金の支払額	△19	△17
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	264	61
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13	920
現金及び現金同等物の期首残高	2,091	2,347
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,077	3,267

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。